

13 マークシート方式による学力検査

第一次募集・分割前期募集及び分割後期募集・第二次募集において、共通問題を使用して学力検査を実施する全ての高校で「マークシート方式」による学力検査を実施します。

ここでは、「マークシート方式」の問題の特徴やマーク欄の塗り方の注意事項などについて紹介します。

マークシート方式の問題の特徴

Q：マークシート方式による学力検査では、どのように解答するのですか。

A：マークシート方式による学力検査のうち、記号を選択する問題では、「ア、イ、ウ、エ」等の記号を書くのではなく、記号のマーク欄を塗って解答します。記述式の問題では、解答欄に解答を記述することになります。

<問題と解答用紙>

令和4年度入試 学力検査 数学 1 より

〔問8〕 次の□の中の「い」「う」に当てはまる数字をそれぞれ答えよ。

右の図1で点Oは線分ABを直径とする円の中心であり、2点C、Dは円Oの周上にある点である。4点A、B、C、Dは図1のようにA、C、B、Dの順に並んでおり、互いに一致しない。点Bと点D、点Cと点Dをそれぞれ結ぶ。線分ABと線分CDとの交点をEとする。点Aを含まない \widehat{BC} について、 $\widehat{BC} = 2\widehat{AD}$ 、 $\angle BDC = 34^\circ$ のとき、 x で示した $\angle AED$ の大きさは、□度である。

答えは、51度だから、「い」の欄に5、「う」の欄に1を塗ろう。



令和4年度入試 学力検査 社会 4 より

4 次の文章を読み、あとの各問に答えよ。

私たちは、身の回りの土地やものについて面積や重量などを道具を用いて計測し、その結果を暮らしに役立ててきた。古代から、各時代の権力者は、財政基盤を固めるため、土地の面積を基に税を徴収するなどの政策を行ってきた。時代が進み、地域により異なっていた長さや面積などの基準が統一された。江戸時代に入ると、天文学や数学なども発展を遂げ、明治時代以降、我が国の科学技術の研究水準も向上し、独自の計測技術も開発されるようになった。

第二次世界大戦後になると、従来は計測することができなかった距離や大きさなどが、新たに開発された機器を通して計測することができるようになり、環境問題などの解決のために生かされてきた。

〔問1〕 財政基盤を固めるため、土地の面積を基に税を徴収するなどの政策を行ってきた。とあるが、次のア～エは、権力者が財政基盤を固めるために行った政策の様子について述べたものである。時間のないものから順に記号を並べよ。

ア 朝廷は、人口増加に伴う土地不足に対応するため、墾田永年私財法を制定し、新しく開墾した土地であれば、永久に私有地とすることを認めた。

イ 朝廷は、財政基盤を強化するため、摂関政治を主導した有力貴族や寺社に集中していた荘園を整理するとともに、大ききの異なる橋の統一を図った。

ウ 朝廷は、元号を建武に改め、天皇中心の政治を推進するため、全国の田畑について調査させ、年貢などの一部を徴収し貢納させた。

エ 二度にわたる元軍の襲来を退けた幕府は、租税を全国に課すため、諸国の守護に対して、田地面積や領有関係などを記した文書の提出を命じた。

答えは、ア→イ→エ→ウ だな。



Q：マークシート方式を実施しない高校はありますか。

A：次の①のとおり、第一次募集・分割前期募集及び分割後期募集・第二次募集において、マークシート方式ではない学力検査問題で入試を行う高校があります。また、障害のある受検者に対する特別措置など、特別措置を申請した場合にも、申請の内容によって、②のとおり、マークシート方式による学力検査を実施しない場合があります。マークシート方式ではない学力検査問題では、③のとおり、選択した記号や解答などを解答欄に記述することになります。

なお、令和5年度入試から、島しょの高校でもマークシート方式による学力検査を実施します。

<① マークシート方式ではない学力検査問題で入試を行う高校>

	マークシート方式により実施しない教科	備考
全日制自校作成校（※1）	国語、数学、英語	社会、理科はマークシート方式
国際高校（※1）	英語	英語以外はマークシート方式
定時制自校作成校（※2）	自校で作成する教科（※2）	

※1 学力検査問題を自校で作成する高校については、47ページのQ&Aを参照してください。

※2 定時制自校作成校及び自校で作成する教科の詳細については、11月上旬に発行予定の「令和5年度東京都立高等学校募集案内」で確認してください。

<② 特別措置を申請した場合>

障害のある受検者に対する特別措置や、事故や病気等による学力検査等実施上の特別措置を申請した場合、措置の内容によってマークシート方式ではないことがあります。

<③ マークシート方式ではない場合の解答方法>

マークシート方式の場合の解答方法		マークシート方式ではない場合の解答方法	
4	[問1]	エ	
	[問2]	①	(省略)
	②	い	5

マーク欄の塗り方

Q：マーク欄を塗るときに使う筆記用具は何がよいですか。また、どのように塗ればよいですか。

A：筆記用具やマーク欄の塗り方については、次の点に注意しましょう。

筆記用具について

筆記用具は、鉛筆が適しています。シャープペンシルも使用できますが、極細芯のシャープペンシルを使用すると、消しゴムで消したときに書いた跡が残る場合がありますので、避けた方がよいでしょう。

シャープペンシルを使用する場合には、芯の太さが0.5mm以上のものにしましょう。

筆記用具の芯の濃さについて

固い芯の筆記用具の場合、塗りつぶしが薄くなったり、消したときに書いた跡が残ったりすることがあります。HB又はBの濃さの筆記用具を使用するとよいでしょう。

マーク欄の塗り方について

決められた枠内を次の例に従って丁寧に塗りつぶしましょう。多少、はみ出しても大丈夫ですが、悪い例のような場合は、読み取りエラーが起こる可能性がありますので注意しましょう。

良い例**悪い例**

- 線しか書いておらず、塗りつぶしていない。
- 塗りつぶし箇所が小さい。
- はみ出している。
- 輪郭をなぞって、塗りつぶしていない。
- レ点を記入して、塗りつぶしていない。
- 塗りつぶしが薄い。

